



遠距離恋愛中の彼女に

会えなくなったワケ





もうすぐ大学生かー

大学生活はお互い離れて
過ごすと思うと寂しくなるね…

うん、でも二人で
決めたことだから…

それに離れるのは大学生のとき
だけだから、その後は一緒に…

うん、分かってるよ
それまで頑張るから

うん、それに会えなくなる
わけじゃないんだから
たまには会いに来てね

うん、必ず

ぎゅっ

ふふ、それじゃ元気だね



大学生になった私、
春樹君のことを思い出しながら
一人暮らしを送る日々、

悩みの一つでもある
家具の組み立ても、お隣さんが
手伝ってくれてなんとかなりました

最初は遠慮したけど是非手伝わせて
ほしいと強く押されたので

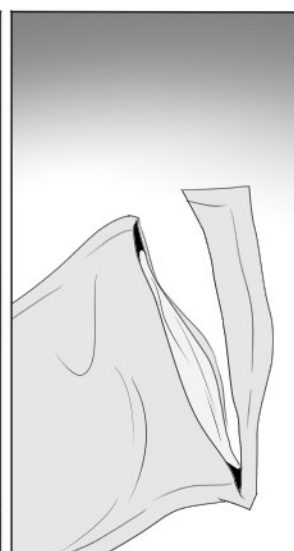
断るのも悪いかなと思い、
甘えてしまいました

それに今回で最後だと思うから

何かお礼もしなくちゃ







おお、恵理奈ちゃんの膣内っ
いい具合に締まって…

パン
パン
パン
パン

ああ、気持ちいいっ

…少し強引だったが
ここまでくればあとは
流れでなんとかなるだろ

あ
あ

ん

ふ
る

は

は

このエロい身体っ

あ
は

あ

まだまだ堪能
させてもらうよっ

ズ
ン
ズ
ン
ズ
ン
ズ
ン

ん

あ

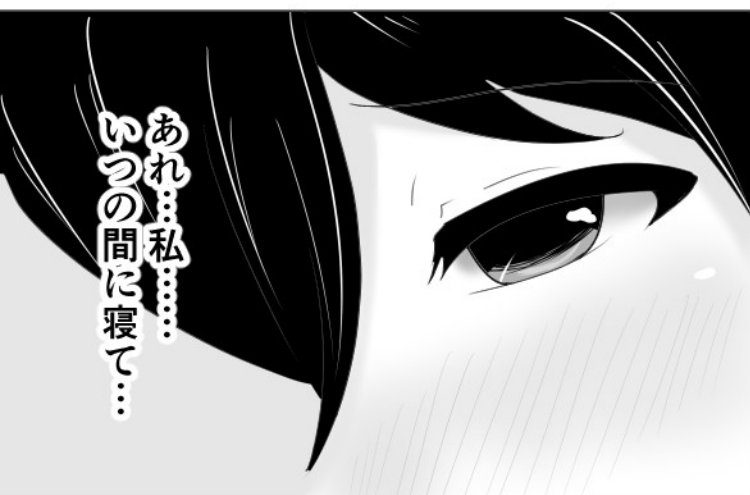
あ

ギ
ン

ギ
ン

ギ
ン

ギ
ン







無理矢理言わされた約束でも守るしかなかった...

私の日常は変わってしまった...

もし断ったらと思うと…

そうそう、いいよ
あぁー気持ちいいっ

もし断ったらと思うと...

もつと舌を使って
吸うように

んっ

ぢゅ

ぢゅ

そうそう、いいよ
ああ〜気持ちいいっ

はっはっはっ

は！

は！

女の顔になってきたね

ふはっ

はー！
はー！

今

今

そう、包み込むように
ギュッと挟んで動かしてっ

おお…もつと
刺激するように
激しくしていいよっ

はっ
はっ
たっ
たばん

たふ

たは

はっ

17,

なほ

たばん

おお：もつと
刺激するように
激しくしていよう

数日後、春樹君が遊びに来てくれた

当然私の悩みは話せないけど…

久しぶりに春樹君に会えて嬉しかった

心が弾んで悩みなんて忘れられる……

忘れたかったのに…

あっ、ごめんね
ちょっと待っててね

ガチャァァァ

ごめんね、春樹君…

ん？どうしたの？
何かあったの？

急用が出来ちゃって…

すぐ帰って来るから…
だから…

シャワー浴びて
待っててくれる？

アッ

むにゅ

う、うん…

ドキッ

ぎゃっ



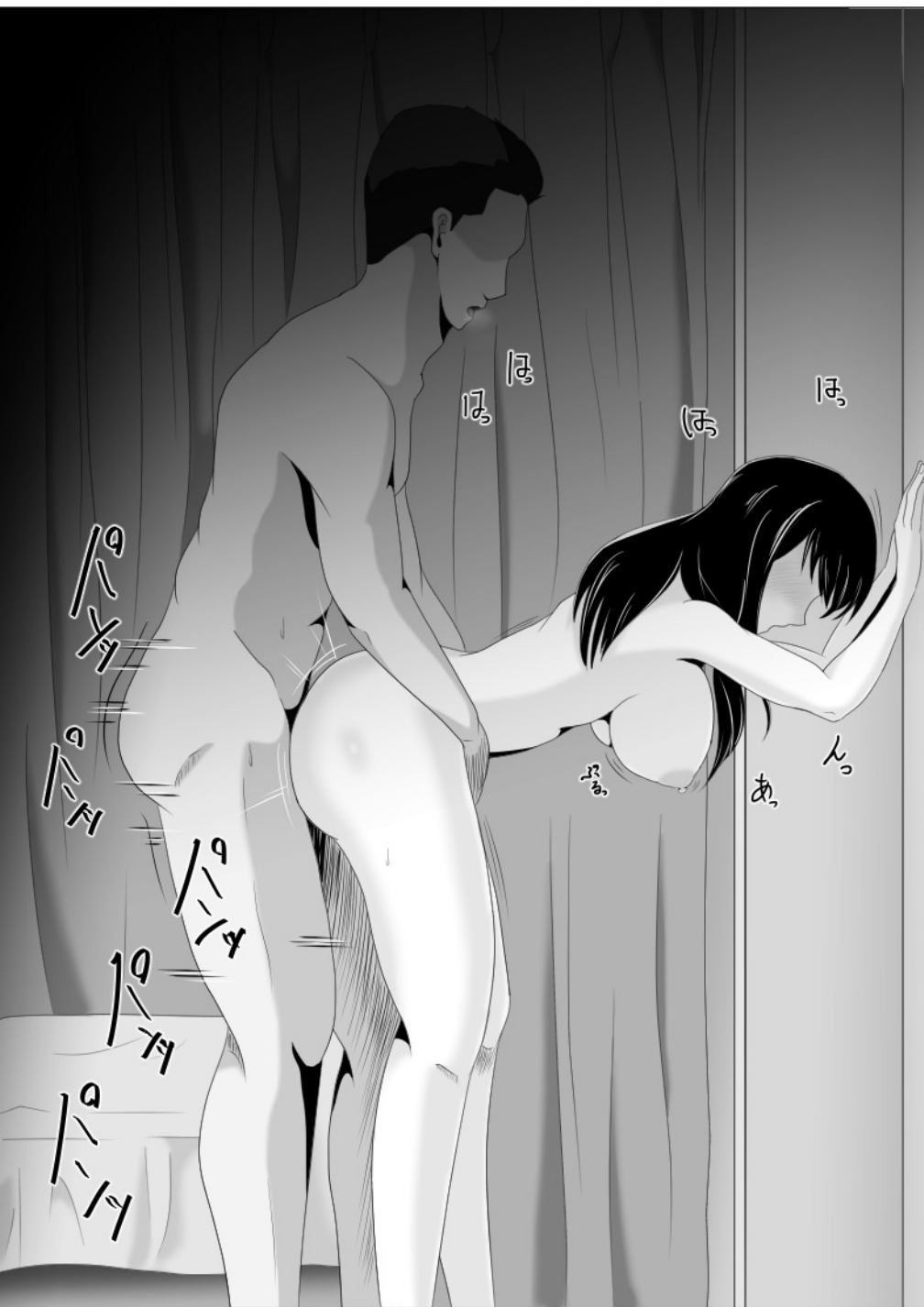
友達かな？



ふう、なんか忙しそう
だったけど、無理
させちゃったかな…

そういえば急用って
何だったんだろ？

誰か来てみたいけど…



この向こうに春樹君が…

ごめんね…

もうすぐ帰れるから…
あと少しだけ待ってて…

ほっ
ほっ
ほっ

じゃあ後は彼氏に
イかせてもらいなよ

えっ!?

いきそうでしょ?

でもダメだよっ

おっイクツ!!

ビュ
ビュ
ビュ

ビュルルッ

ブル

ブル

ビュッ

あ
あ

そんな…あと少しで
イけたのにつ…

ふう、じゃあ…

べちゃあ

彼氏と楽しんできてね

ビュ

ビュ

どろろ

あの人とのセックスが早く済んで
良かったと思う気持ちとは裏腹に

ごめんね春樹君、
待たせちゃって…

大丈夫だよ恵理奈…

んっ…

いつものようにイかせてもらえなかった
私の身体は疼いて仕方がなかった…

恵理奈っ

カッ

はっ
は

ぎゃっ

ごめん、何故か今日の
恵理奈っ妙に色気が
あって我慢出来ないっ

グイ

グイッ

うん、いいよ…
そのまま挿れて…
私は大丈夫だからっ

ビクッ

んっ…

春樹君との時間は
夢のような心地よさ
さえ感じていて…

じゃあね

私はすごく幸せな
気持ちだった…

ぎゅ

でも…

私の身体は満足していなかった…
大好きな春樹君とのエッチなのに
イけなかった…

忘れていたのに…
一人になるとすぐにあのひととの
激しいセックスを思い出して
身体が疼いてしまう…

ああ…こんなにも
いやらしい女に
なってしまうなんて…

ごめんね、春樹君…



オラッイけっ
恵理奈 あっ

ああ、すげえ...
やっぱ生中出し
やっぱえわ

ほほ

あぁ... 私の
身体... イってるっ...

こんなのっ...
だめえ...



ふう、すげえ出た

あぁ...もうダメみたい私...



何回もイかされて...
中出しまでされたのに...

身体が彼を受け入れてしまった...

なあ恵理奈…
もう素直になれよ

会えない彼氏くん
なんか忘れてさ…
俺ならいつでも
抱いてやるから

…俺の女になる決心
ついたらおいで

それまではセックス
はいいからさ…
じゃあ待ってるよ

私…どうしたらいいか…
分からないよ……



ここ数日、あの人とセックスはしてない…
私から求めてくるまで待っているのも
分かってる……

気が付けば春樹君との会話が頭に
入らないくらいにあの人に抱かれない
欲求は抑えられなくなっていた……

ああ…春樹君、

私…もうダメみたい……

ギャーッ



不安を残したままだけど
身体は勝手に動いていた…

あの、私…

分かってるよ

ああ…何度も私を抱いた
この遅しくて男らしい身体…

グイッ

いつの間にか心地よさすら感じて
しまうまでに私は変わっていた…

恵理奈…

あっ…

俺が何もかも
忘れさせてやるよ…

ほ
ほ

…はい

んっ…

彼の言う通り、何もかも
忘れてセックスのことしか
頭になかった…

すごかった…気持ち良すぎて
何回中出しされたか分からない
私も何度絶頂したかも覚えてない…



ただ私の不安は
彼の腕の中に

吸い込まれるように
溶けていった……





孕めっ
恵理奈あつ

おお…すげえ
残りの精子全部
搾り取られるっ

あゝ
あゝ

あゝ

ぎゃ

イェー

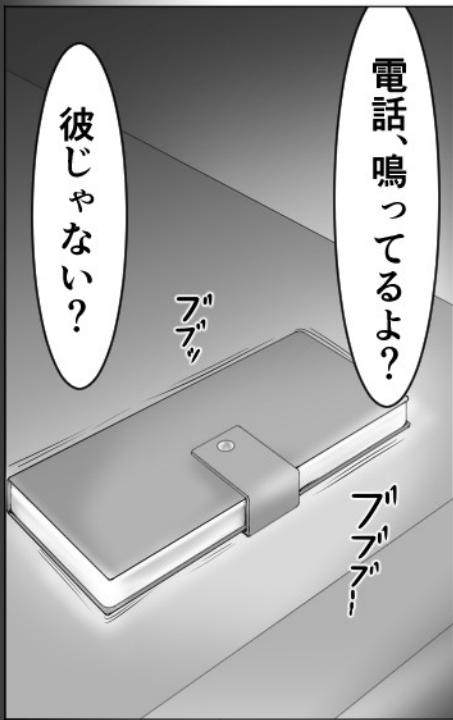


ああ…心
までもが…



ふう、これからはセフレ
じゃなく俺の女として

毎日孕ませセックス
しような、恵理奈



彼じゃない？

電話、鳴ってるよ？



後で…出ます…

出てもいいよ、出たら俺も中出しするのやめるからなっ

えっ、そんな…

あッ

俺の女なんだろう？

…はい、もう電話しません…だから、中にください…

よし、恵理奈っイクぞっ

自分の部屋に誘って…
男の人の上で腰を振るような
いやらしい女に変わってしまった
のは自分でも分かってる…

でも、もう自分にウソを
つかなくていいって…
気持ちいいって素直に
言えるようになったから……



どう…ですか？

ちゃんと気持ち
いいですか？

ああ…最高だ
恵理奈っ

今度は私がイかせて
あげますからっ♡

私の膣内でイってっ♡





私…ほんとにこの人の
女になっちゃったんだ…♡

でも…

これが今の私の
幸せなのかもしれない…

何回か電話しても
出てくれないから

直接来てしまった…

彼女が今どんな気持ちなのか
会えばわかるはずだ…

でも、もしこのまま
会えなかったら……

カチ

ドキ

ドキ

誰か来たよ、元カレじゃない？
最後に会ってきてもいいよ？

違います…きつと…

まだ気にしてるの？
俺が伝えてきてあげようか？

だっだめですっ…
行かないでっ…

んっ

はぁ

あゝ

ギン

ギン

ギン

ギン



いつからなんだろう
気付けなかった…

ただ忙しいだけだと
思っていた…

電話に出ないことが
多くなつて…

いつの間にか音信不通に
なってしまった…

何度か彼女の元へ訪れても一度も
会えなかったけど、いることはわかる…

でも、カーテンで閉めきられた部屋の中で
彼女は何をやっているのだろうか…

お互い離れて会うことが少なくなっただけで
こんなことになるだろうか…

それでも彼女の気持ちが変わつてしまったのは確かだ

他の誰かという恵理奈なんて考えたくもないけど…
ダメだ、何もかも遅い…

僕はもう大切な彼女を失ってしまったのだから…

